

令和5年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

6 監査第52号
令和6年8月21日

長野市各財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	下平	嗣
同	川上	馨
同	若林	祥
同	市川	和彦

令和5年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1 審査の種類	1
第 2 審査の対象	1
第 3 審査の着眼点	1
第 4 審査の実施内容	1
第 5 審査の結果	2
1 決算の概要	2
2 意 見	2
松代財産区特別会計	3
豊栄財産区特別会計	5
西寺尾本郷財産区特別会計	7
今井財産区特別会計	9
信級財産区特別会計	11
日原財産区特別会計	13

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和5年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和6年7月1日から8月20日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和5年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計
豊栄財産区特別会計
西寺尾本郷財産区特別会計
今井財産区特別会計
信級財産区特別会計
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概要

(単位 円)

区分 財産区別	収入済額	支出済額	差引残額
松代財産区	1,851,963	718,385	1,133,578
豊栄財産区	280,614	8,600	272,014
西寺尾本郷財産区	580,328	277,400	302,928
今井財産区	349,276	242,639	106,637
信級財産区	521,103	59,557	461,546
日原財産区	49,546	35,637	13,909
合計	3,632,830	1,342,218	2,290,612

2 意見

財産区の公有財産である山林及び畑地等について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努めるとともに、持続的な運営を図られたい。

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,851,963 円に対する歳出決算額は 718,385 円で、歳入歳出差引残額 1,133,578 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	873,000	873,118	873,118	0	0	100.0	100.0
繰越金	663,000	978,838	978,838	0	0	147.6	100.0
諸収入	2,000	7	7	0	0	0.4	100.0
合 計	1,538,000	1,851,963	1,851,963	0	0	120.4	100.0
4年度	1,475,000	1,863,651	1,863,651	0	0	126.3	100.0
比較増減	63,000	△11,688	△11,688	0	0	△5.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	104.3	99.4	99.4	—	—	—	—

収入済額は 1,851,963 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 978,838 円及び財産収入 873,118 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,508,000	718,385	0	789,615	47.6
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	1,538,000	718,385	0	819,615	46.7
4年度	1,475,000	884,813	0	590,187	60.0
比較増減	63,000	△166,428	0	229,428	△13.3ポイント
前年度対比	104.3	81.2	—	138.9	—

支出済額は 718,385 円で、予算現額に対する執行率は 46.7%である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	64,613	4,157	68,770	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,559,000	100,000	23,659,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 280,614 円に対する歳出決算額は 8,600 円で、歳入歳出差引残額 272,014 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	207,000	259,773	259,773	0	0	125.5	100.0
分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	230,000	280,614	280,614	0	0	122.0	100.0
4年度	231,000	270,244	270,244	0	0	117.0	100.0
比較増減	△1,000	10,370	10,370	0	0	5.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	99.6	103.8	103.8	—	—	—	—

収入済額は 280,614 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 259,773 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	180,000	8,600	0	171,400	4.8
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	230,000	8,600	0	221,400	3.7
4年度	231,000	10,471	0	220,529	4.5
比較増減	△1,000	△1,871	0	871	△0.8ポイント
前年度対比	99.6	82.1	—	100.4	—

支出済額は 8,600 円で、予算現額に対する執行率は 3.7%である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	19,720	151	19,871	—	—	—

西寺尾本郷財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 580,328 円に対する歳出決算額は 277,400 円で、歳入歳出差引残額 302,928 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	46,000	45,075	45,075	0	0	98.0	100.0
繰越金	293,000	294,251	294,251	0	0	100.4	100.0
繰入金	241,000	241,000	241,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	582,000	580,328	580,328	0	0	99.7	100.0
4年度	570,000	581,896	581,896	0	0	102.1	100.0
比較増減	12,000	△1,568	△1,568	0	0	△2.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	102.1	99.7	99.7	—	—	—	—

収入済額は 580,328 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 294,251 円及び繰入金 241,000 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	552,000	277,400	0	274,600	50.3
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	582,000	277,400	0	304,600	47.7
4年度	570,000	287,645	0	282,355	50.5
比較増減	12,000	△10,245	0	22,245	△2.8ポイント
前年度対比	102.1	96.4	—	107.9	—

支出済額は 277,400 円で、予算現額に対する執行率は 47.7%である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野 (畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,066,000	△ 241,000	3,825,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 349,276 円に対する歳出決算額は 242,639 円で、歳入歳出差引残額 106,637 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	162,000	161,569	161,569	0	0	99.7	100.0
繰越金	90,000	77,707	77,707	0	0	86.3	100.0
繰入金	389,000	110,000	110,000	0	0	28.3	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	643,000	349,276	349,276	0	0	54.3	100.0
4年度	631,000	629,930	629,930	0	0	99.8	100.0
比較増減	12,000	△280,654	△280,654	0	0	△45.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	101.9	55.4	55.4	—	—	—	—

収入済額は 349,276 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 161,569 円及び繰入金 110,000 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	633,000	242,639	0	390,361	38.3
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	643,000	242,639	0	400,361	37.7
4年度	631,000	552,223	0	78,777	87.5
比較増減	12,000	△309,584	0	321,584	△49.8ポイント
前年度対比	101.9	43.9	—	508.2	—

支出済額は 242,639 円で、予算現額に対する執行率は 37.7% である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	15,305	110	15,415	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,110,000	△ 110,000	5,000,000

信級財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 521,103 円に対する歳出決算額は 59,557 円で、歳入歳出差引残額 461,546 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	2,000	233	233	0	0	11.7	100.0
繰越金	19,000	520,866	520,866	0	0	2,741.4	100.0
繰入金	89,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合計	112,000	521,103	521,103	0	0	465.3	100.0
4年度	175,000	571,334	571,334	0	0	326.5	100.0
比較増減	△63,000	△50,231	△50,231	0	0	138.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	64.0	91.2	91.2	—	—	—	—

収入済額は 521,103 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 520,866 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	92,000	59,557	0	32,443	64.7
予備費	20,000	0	0	20,000	0.0
合計	112,000	59,557	0	52,443	53.2
4年度	175,000	50,468	0	124,532	28.8
比較増減	△63,000	9,089	0	△72,089	24.4ポイント
前年度対比	64.0	118.0	—	42.1	—

支出済額は 59,557 円で、予算現額に対する執行率は 53.2%である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	9,724	28	9,752	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,650,000	0	1,650,000

日原財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 49,546 円に対する歳出決算額は 35,637 円で、歳入歳出差引残額 13,909 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	2,000	16	16	0	0	0.8	100.0
繰越金	48,000	49,530	49,530	0	0	103.2	100.0
繰入金	24,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	76,000	49,546	49,546	0	0	65.2	100.0
4年度	382,000	78,530	78,530	0	0	20.6	100.0
比較増減	△306,000	△28,984	△28,984	0	0	44.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	19.9	63.1	63.1	—	—	—	—

収入済額は 49,546 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰越金 49,530 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	66,000	35,637	0	30,363	54.0
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	76,000	35,637	0	40,363	46.9
4年度	382,000	29,000	0	353,000	7.6
比較増減	△306,000	6,637	0	△312,637	39.3ポイント
前年度対比	19.9	122.9	—	11.4	—

支出済額は 35,637 円で、予算現額に対する執行率は 46.9%である。
支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	12,894	2	12,896	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

令和5年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

6 監査第53号
令和6年8月21日

長野市東条財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	下平	嗣
同	川上	馨
同	若林	祥
同	市川	和彦

令和5年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
3	意 見	3

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和5年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和6年7月1日から8月20日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和5年度長野市東条財産区特別会計決算

東条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 688,141 円に対する歳出決算額は 369,636 円で、歳入歳出差引残額 318,505 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	392	392	0	0	13.1	100.0
繰越金	373,000	374,746	374,746	0	0	100.5	100.0
繰入金	313,000	313,000	313,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	3	3	0	0	0.2	100.0
合 計	691,000	688,141	688,141	0	0	99.6	100.0
4年度	962,000	960,780	960,780	0	0	99.9	100.0
比較増減	△271,000	△272,639	△272,639	0	0	△0.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	71.8	71.6	71.6	—	—	—	—

収入済額は 688,141 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 374,746 円及び繰入金 313,000 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	92,000	72,000	0	20,000	78.3
総務費	589,000	297,636	0	291,364	50.5
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	691,000	369,636	0	321,364	53.5
4年度	962,000	586,034	0	375,966	60.9
比較増減	△271,000	△216,398	0	△54,602	△7.4ポイント
前年度対比	71.8	63.1	—	85.5	—

支出済額は 369,636 円で、予算現額に対する執行率は 53.5%である。

支出済額の主なものは、総務費 297,636 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	102,956	0	102,956	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	99,334	0	99,334	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	5,452	34	5,486	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	10,500	0	10,500

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	16,543,742	△ 313,000	16,230,742

3 意 見

財産区の公有財産である山林及び池沼等について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努めるとともに、持続的な運営を図られたい。

令和5年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

6 監査第54号
令和6年8月21日

長野市西条財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	下平嗣
同	川上馨
同	若林祥
同	市川和彦

令和5年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
3	意 見	3

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和5年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和6年7月1日から8月20日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和5年度長野市西条財産区特別会計決算

西条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 3,343,551 円に対する歳出決算額は 2,179,013 円で、歳入歳出差引残額 1,164,538 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,000	2,343	2,343	0	0	46.9	100.0
繰越金	851,000	996,839	996,839	0	0	117.1	100.0
繰入金	1,868,000	1,868,000	1,868,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	496,000	476,361	476,361	0	0	96.0	100.0
諸収入	2,000	8	8	0	0	0.4	100.0
合 計	3,222,000	3,343,551	3,343,551	0	0	103.8	100.0
4年度	6,374,000	6,435,640	6,435,640	0	0	101.0	100.0
比較増減	△3,152,000	△3,092,089	△3,092,089	0	0	2.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	50.5	52.0	52.0	—	—	—	—

収入済額は 3,343,551 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰入金 1,868,000 円及び繰越金 996,839 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	348,000	337,800	0	10,200	97.1
総務費	813,000	608,360	0	204,640	74.8
林業費	1,628,000	923,853	0	704,147	56.7
林道費	398,000	309,000	0	89,000	77.6
予備費	35,000	0	0	35,000	0.0
合 計	3,222,000	2,179,013	0	1,042,987	67.6
4年度	6,374,000	5,438,801	0	935,199	85.3
比較増減	△3,152,000	△3,259,788	0	107,788	△17.7ポイント
前年度対比	50.5	40.1	—	111.5	—

支出済額は 2,179,013 円で、予算現額に対する執行率は 67.6% である。

支出済額の主なものは、林業費 923,853 円及び総務費 608,360 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立木 (m ³) (推定蓄積量)	82,934.01	2,642.32	85,576.33	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	17,716,842	△ 1,868,000	15,848,842

3 意 見

財産区の公有財産である山林について、間伐等の活動を継続し、適切に管理されたい。
また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努めるとともに、持続的な運営を図られたい。

令和5年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

6 監査第55号
令和6年8月21日

長野市大岡中牧財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	下平	嗣
同	川上	馨
同	若林	祥
同	市川	和彦

令和5年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
3	意 見	3

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和5年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和6年7月1日から8月20日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和5年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 9,046,527 円に対する歳出決算額は 8,346,437 円で、歳入歳出差引残額 700,090 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,290,000	5,290,304	5,290,304	0	0	100.0	100.0
繰入金	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0	0	100.0	100.0
繰越金	1,200,000	1,256,192	1,256,192	0	0	104.7	100.0
諸収入	2,000	31	31	0	0	1.6	100.0
合 計	8,992,000	9,046,527	9,046,527	0	0	100.6	100.0
4年度	5,440,000	5,531,186	5,531,186	0	0	101.7	100.0
比較増減	3,552,000	3,515,341	3,515,341	0	0	△1.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	165.3	163.6	163.6	—	—	—	—

収入済額は 9,046,527 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、財産収入 5,290,304 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	197,000	174,800	0	22,200	88.7
総務費	8,745,000	8,171,637	0	573,363	93.4
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	8,992,000	8,346,437	0	645,563	92.8
4年度	5,440,000	4,274,994	0	1,165,006	78.6
比較増減	3,552,000	4,071,443	0	△519,443	14.2ポイント
前年度対比	165.3	195.2	—	55.4	—

支出済額は 8,346,437 円で、予算現額に対する執行率は 92.8%である。

支出済額の主なものは、総務費 8,171,637 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	60,210	831	61,041	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,888,282	△ 884,968	23,003,314
有 価 証 券	10,000,000	0	10,000,000
合 計	33,888,282	△ 884,968	33,003,314

3 意 見

財産区の公有財産である山林について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努めるとともに、持続的な運営を図られたい。

令和5年度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

6 監査第56号
令和6年8月21日

長野市信州新町中牧財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	下平	嗣
同	川上	馨
同	若林	祥
同	市川	和彦

令和5年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	1
第 2	審査の対象	1
第 3	審査の着眼点	1
第 4	審査の実施内容	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
3	意 見	3

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和5年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づいた決算審査で、令和6年7月1日から8月20日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第2 審査の対象

1 令和5年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第3 審査の着眼点

全国都市監査委員会 実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の係数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見は以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,413,264 円に対する歳出決算額は 1,839,012 円で、歳入歳出差引残額 574,252 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,868,000	1,867,967	1,867,967	0	0	100.0	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	545,000	545,284	545,284	0	0	100.1	100.0
諸収入	2,000	13	13	0	0	0.7	100.0
合 計	2,416,000	2,413,264	2,413,264	0	0	99.9	100.0
4年度	2,401,000	2,441,707	2,441,707	0	0	101.7	100.0
比較増減	15,000	△28,443	△28,443	0	0	△1.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.6	98.8	98.8	—	—	—	—

収入済額は 2,413,264 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,867,967 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	297,000	169,900	0	127,100	57.2
総務費	1,919,000	1,669,112	0	249,888	87.0
予備費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	2,416,000	1,839,012	0	576,988	76.1
4年度	2,401,000	1,896,423	0	504,577	79.0
比較増減	15,000	△57,411	0	72,411	△2.9ポイント
前年度対比	100.6	97.0	—	114.4	—

支出済額は 1,839,012 円で、予算現額に対する執行率は 76.1%である。

支出済額の主なものは、総務費 1,669,112 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	60,210	831	61,041	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	62,800	0	62,800

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	7,218,000	300,000	7,518,000

3 意 見

財産区の公有財産である山林について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努めるとともに、持続的な運営を図られたい。